

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」相模大野校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	パーティションにより個々の活動空間を確保している。利用者にあった教室内のスペースづくりを一人一人に合わせて設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	常勤4名、非常勤2名を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	絵や文字を用い、分かりやすく伝えるように心掛けている。教室内には段差はなく、バリアフリーになっている。掲示物による視覚提示も積極的に行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	日頃から職員同士で話し合っている。事業所内で改善活動を実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	HP等を通じて行っている。教室にアンケート結果を掲示し、利用者等がいつでも見られる環境になっている。見やすい・手に取りやすい工夫を考えていきたい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	0	第三者委員会が立ち上がっていないため設置検討をする。毎月事業所内で業務改善に向けての取り組みを話し合い活動している。外部の専門家から定期的に巡回指導を受けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	新人向けの研修を含めて充実している。事業所内研修や外部研修を活用し、職員の資質向上のための取り組みを行っている。外部の専門家から定期的に巡回指導を受けている。また法人内他事業所の指導員同士で交流を行い、勉強会等を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	定期的にあセスメントやモニタリングをするほか、必要に応じて実施するなど工夫を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	法人で定められたアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	支援計画を見ながら、支援者同士で話し合いを行っている。前回の利用者の様子や取り組みの内容を踏まえて支援を行うように打ち合わせを実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	支援計画を見ながら、支援者同士で話し合いを行っている。前回の利用者の様子や取り組みの内容を踏まえて支援を行うように打ち合わせを実施している。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	個別支援中心だが、平日と休日で活動な内容を変更するなど工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	保護者の希望と本人の特性を考慮して作成している。必要に応じて、集団療育の案内を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	支援前後に指導員同士での話し合いを実施している。前回の利用者の様子や取り組みの内容を踏まえて支援を行うように打ち合わせを実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	支援前後に指導員同士での話し合いを実施している。その日の成果や課題は必ず職員間で情報を共有するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	支援前後に指導員同士での話し合いを実施している。記録は全職員が目を通すようにして、正しく記録を取る工夫をしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	課題の整理や今後に向けての方向性などしっかりと話し合い、全員参加の体制でモニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	学習支援のみならず、認知作業の支援や社会性の支援など複数の活動を組み合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6	0	0	管理者責任者が出席するようにしている。また、指導に当たる職員も支援がない限りできるだけ参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	保護者と支援後のフィードバック時に学校等の様子をしっかりと伺うようにしている。一人通いの児童の保護者に対して、支援の前後に保護者に到着と出発の連絡を行うようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	0	協力医と連携を取っている。かかりつけ医・保護者から情報を共有するように心掛ける。重心障害児の利用はない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	他の専門機関と連携を取るよう心掛けている。子どもが通っている他事業所等と連携が取れるように努力している。また、子どもの通っていた保育所等とも連携を取るようになっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	6	0	該当者がまだいないが、そのような場合に連携移行支援が行えるよう、常に準備するようになっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	他の専門機関と連携を取るよう心掛けている。研修センター主催の研修に積極的に参加している。研修内容は、事業所職員で共有するように努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	他の専門機関と連携を取るよう心掛けている。今後、障がいのない子供との関わり地域支援に向けた取り組みも実施していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	児発管を中心に参加し、協議会の内容を校舎で共有している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	当日あったこと起きたことは必ず当日中に職員で共有し、対応するよう努めている。

					大きな問題が生じたときには本部に連絡し、必要な対応を適宜講じている。	
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	フィードバック時に家庭での様子を聞き、児童に合わせた声掛けの方法などを保護者と一緒に考えるようにしている。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に保護者にきちんと説明を行い、理解を得ている。 また、教室の保護者の手の届く所に常時掲示閲覧できるようにしている。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	フィードバック時に学校や家庭での様子を必ず聞くように心掛けている。通級指導教室や適応教室の案内など状況に応じて必要な助言を行っている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	1	月に一度のイベントや小集団療育を通して、保護者同士がコミュニケーションを取れる場面を設定しているが、父母会などの名称で保護者のみが参加する企画は行えていないため、設定していきたい。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	苦情や相談を受け付けたものは、なるべく当日中に、児発管を含む他の職員に伝達し、早期対応ができるように努めている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	月1回程度ブログの作成を行い、イベントの案内や支援の様子を利用者保護者を含めた外部に向けて情報を発信している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	利用者の個人情報はファイル管理したうえで施錠できる書庫で管理保管している。また、机上整理に努め、個人情報の紛失漏洩がないように努めている。 保護者に資料等を渡すときは事前にしっかりとチェックを行い、個人情報が含まれていないかなど注意していく。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	担当制ではないため、毎回職員間で支援内容や支援者の様子を引継ぎしている。 毎回支援後にフィードバックを行い、支援内容や日々の生活について情報を共有している。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	0	月1回程度、外部向けのイベントを実施し、気軽に体験見学ができるように努めている。 地域の行事などには参加したことがないため参加できるように努めていきたい。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	月に1回必ず防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。
㉛		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	校舎内や地区全体で研修を受け、対応の方法を学習している。
㉜		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	契約時に保護者の方にきちんと説明を行い、了解を得ている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	<p>面談時に必ず聞き取りを行い、基本情報シートに記入し、情報を職員間でも共有している。</p> <p>食事の提供は行っていない。</p>
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	<p>過去の事例に職員全体が目を通すように努めている。</p> <p>定期的に会議の時に、職員全員で情報を共有するようにしている。</p>

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」相模大野校

保護者等数(児童数)：31名 回収数：27名 割合：87%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	0	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	2	0	・職員の人数は良いと思いますが、専門性は人によって違います。質問には、応じて下さってうれしいです。参考になります。 →職員の経験や専門性は様々ですが、どの指導員の指示を聞くことや社会性を育むことにもつながっています。事業所としても、職員間で差が生じないように研修等で切磋琢磨して参りますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	11	0	・自転車置き場の坂がつかいず。 →他の駐輪場を案内するなど対応していきたいと思えます。マンション設備に関しては、管理会社に意見を上げていきたいと思えます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	27	0	0	・とても細かく考えてくださり、感謝しています。 →今後もしっかりと計画を立てて、先を見据えて支援を提供していきたいと思えます。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	25	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	13	9	・他児童との関わりを本人が嫌がっている。 →ご本人が参加したくなるような工夫を考えていきたいと思えます。 ・お願いしたことについての課題をプラスにしてくれてよかったです。これからも苦手なことを少しずつ興味を持ってできるように願います。 →今後も保護者と利用者のニーズにお応えできるように努力して参ります。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	1	0	未回答：1
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	13	8	・知り合いの父母とはお互いに話をしたりしていますが保護者会等は特にないので今後は考えて頂けたら嬉しいです。 →父母会など実施し、保護者同士の交流機会の提供を増やしていけるようにします。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	3	0	未回答：1 ・苦情なんて全くないのですが、あったとしたら対応していただいていると思います。 →今後も苦情の出ないような質の高い療育を提供できるように努めて参ります。ご意見等ありましたら遠慮なくお申し付けください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	7	2	未回答：1
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	2	0	・受給者証や支払額は職員誰でも見る必要があるのでしょうか？ →当事業所には、事務専門のスタッフがおりません。全職員が目を通すことが出来る環境にすることで、管理者が作成した書類のミスを発見することもできます。職員は全員、個人情報について守秘義務契約を会社の方と結んでもおりますのでどうか安心して頂き、ご理解ご協力を頂ければと思います。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	6	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	5	0	・きりがイヤだと言ったことがなく、本当に好きだと感じる。 →今後も好きだと思ってもらえるように努力して参ります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	4	0	・宿題や本人の苦手な課題を楽しんで取り組めるようにしていただいています。以前よりモチベーションも高くなり本人の「できる」という自信もつきました。 →今後も「できた」という気持ちを大切に、苦手な活動も工夫しながら支援を提供できるように努めてまいります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。